

2024年7月26日 第3479回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 高橋 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *株式会社横浜ビー・コルセアーズ 取締役 植田 哲也 様

*株式会社横浜ビー・コルセアーズ

マーケティング部 競技運営担当 石川 美樹 様

<会長報告> *国際ロータリー日本事務局より

・RI分担金及び比例人頭分担金送金のお願について

*副会長との海上自衛隊横須賀地方総監へのご挨拶報告

・8月2日付で伊藤総監はご退任、新任予定の真殿様にもご挨拶の予定

*佐々木ガバナーより前回の例会および懇談会についてのお礼状を拝受

<委員長報告> *雑誌委員会 杉浦委員長よりロータリーの友電子版のご案内

・スマートフォン、PCでも閲覧可能(1953年1月創刊から)

・閲覧の為のID・パスワード(6ヶ月で更新必要)は配布資料の右下に記載

<幹事報告> *例会終了後、会員増強維持委員会の第1回打ち合わせを実施

<出席報告> *出席委員会 臼井委員長より7月26日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
116名	104名	72名(5名)	32名	5名	73.33%

メイクアップ: 小沢、岡田(英)、北村各会員 地区委員会出席

萩原会員 横須賀ローターアクトクラブ例会出席

<ニコニコ報告>

・三 役 (株)横浜ビー・コルセアーズ 取締役 植田哲也様、マーケティング 石川美樹様、ようこそ! 横須賀RCにお越し下さりありがとうございます。本日の卓話宜しく願いいたします。バスケ日本代表河村選手の活躍が楽しみです!!

・児玉、大野、永井、長島、杉浦、梁井、濱田、江口、佐久間、松本、権田、岩崎、八木、植田、新倉、小佐野、渡辺、澤田、藤村、齋藤、小保内、田中、三堀、前川 各会員

(株)横浜ビー・コルセアーズ 取締役 植田哲也様ようこそお越しくださいました。卓話を楽しみにしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

・石田、梶木、植田、小山、比護 各会員 (株)横浜ビー・コルセアーズ マーケティング 石田美樹様ようこそお越しくださいました。どうぞ例会をお楽しみください。

・高橋、八巻 両会員 本日、ブラジル派遣高石愛香さんのお見送りに高橋会長他横須賀RC会員5名、三浦学苑生徒会の皆さん、高石さんのご家族と羽田空港へ行ってまいりました。

・木村、荻山、寺田、加藤、濱田、小平、植田、三井、角井、松岡、臼井、山下 各会員

いよいよオリンピック開幕ですね! バスケットにも期待しています!! 暑さの中、笑顔で熱い声援を送りましょう!!!

<卓 話> 「バスケットボールを通じて100万人の笑顔をつくる」

株式会社横浜ビー・コルセアーズ
取締役 植田 哲也 様

皆様こんにちは。ただいまご紹介頂きました横浜ビー・コルセアーズの植田と申します。

実は植田さんと長く親しくさせて頂いておまして、後ほど画像でも見て頂きたいのですが、我々のユニホームの左肩に岩崎学園さんのロゴを配置させて頂いております。我々のクラブをサポート頂いていること等、懇意にさせて頂いております。本日貴重なお時間を頂きましたので、しっかりと皆様に我々の活動に関してご説明をさせて頂きましますのでどうぞ宜しくお願いします。本日はご参列頂いている皆様にプロバスケットボールリーグやクラブの現状に関してご理解を頂ければ幸いです。また、その中でも我々横浜ビー・コルセアーズがどのような活動をして地域と連携をしているかというものは是非ご確認頂ければと思っています。皆様の中には、まだビー・コルセアーズやプロバスケットボールについてご存じない方もいらっしゃると思いますので、是非知って頂き、何か関わって頂けるような関係になれば嬉しいと思っております。本日は以下のご説明をさせて頂きまします。

- ・自己紹介
- ・バスケットボール界のいま
- ・B. LEAGUE／横浜ビー・コルセアーズクラブの現状について
- ・笑顔をつくる活動について

ところで皆様、先ほどから色々とスポーツの話させて頂いておりますけれども、河村勇輝選手を知っていらっしゃいますか？ありがとうございます、やはりたくさん知って頂いていますね。B. LEAGUEを知っていらっしゃる方はいらっしゃいますか？同様に知って頂いていますね。その中でビー・コルセアーズを知っている方はいらっしゃいますか？これは若干落ちますね。ありがとうございます。

まず、私の自己紹介ですが、先ほど副会長からお話し頂きましたので詳細は割愛させて頂きましますが、私は実はずっと野球をやっておりました。ですので、バスケットボールは仕事で関わってから初めて知ったスポーツで、当初はルールも知りませんでした。野球と違って攻守の切れ間がなく常に動いていて、野球やサッカーと違うところは目の前で選手がプレーをしているところです。その近さ、速さがバスケットボールの特徴と思っております。今シーズンは10月から試合が始まります。よろしければ皆様には是非ご案内させて頂きたいと思っております。

私の座右の銘、戒めの言葉として、この2つを常に意識しております。

- ・足りないのは運や才能ではなくて、情熱である
- ・商売に必要なのは強い体と強い心、そして強い運！運というのは情報！威張ると肝心の情報が入ってこない。だから威張っちゃいけない

威張らずに謙虚な姿勢で常に行動して下さいという意味です。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、二つ目は富士そばの会長のお言葉でございます。これを見たときに、あ、そうだな、と思って、私もビー・コルセアーズに関わりながら、常にこの2つの言葉を意識しながら日々活動をしています。

続きまして、バスケットボール業界に関してご説明させて頂きまします。皆様、この写真を覚えていらっしゃいますか？昨年、日本の沖縄とフィリピンとインドネシアでバスケットボールの世界カップが開催されました。2023年の世界カップは日本バスケット界にとって大きな出来事でした。まず、世界カップの勝利は50年以上ぶりでした。また、これまでヨーロッパのチームに勝ったことがありませんでした。その中、この写真の中心で日の丸の旗を掲げているNBAプレーヤーの渡辺優太選手をはじめとして、その隣におります河村勇輝選手やそれ以外の選手が大活躍しました。その活躍によって初めて世界カップでの勝利という偉業を成し遂げ、その後今日から始まるパリオリンピックの出場へと繋がりました。本当に日本のバスケット界にとって大きな出来事でした。



この結果どうなったかという、試合をご覧になられた方がいらっしゃると思いますが、地上波で5回放送させて頂きました。日テレ、テレ朝それぞれの視聴率で換算しますと、約5700万人の方が視聴されたと言われています。日本の人口の約半分ぐらいの方々がこのバスケットボールを視聴したという結果になります。合わせて、一連の活躍と注目を通じてバスケットボールのファンがどれだけ増えたかという、シンクタンクを通じて調べると、500万人から830万人ぐらいということで、300万人以上の方がファンになったというデータがございました。我々のビー・コルセアーズはもちろんのこと、それ以外の全国にあるクラブがたくさんのお客様であふれた会場で試合を迎えることができるようになりました。

本日からオリンピックが開幕します。日本時間で明日の朝、バスケットボールは男子、女子ともに出場させて頂きます。特に女子は、前回大会の東京オリンピックでシルバーメダル（準優勝）を成し遂げたチームで、メダルの期待もかかっています。男子もこちらに12名それぞれを画像で上げさせて頂きますが、NBAプレーヤーである八村塁選手、つい先日日本に帰って来ることを表明した渡辺選手、また我々のクラブに所属している横浜ビー・コルセアーズの河村祐樹選手ももちろん参加しております。この中で一人だけ覚えておいて頂きたい選手が左から二番目の背番号4番の選手です。ジェイコブス・晶という名前で20歳になります。18歳までは我々ビー・コルセアーズの選手として特別指定という形で、若くしてプロ契約をしていた選手で、今回、20歳で初めて日本代表に選ばれました。この選手は今ハワイの大学にて大学生活をしています。実は、彼の出身で、彼が育った町はこの横須賀です。明日の夜8時半からドイツ戦があります。是非この選手の活躍も見届けて頂きたいと思っております。男子、女子それぞれグループに分かれて戦います。どのチームもどのグループも非常に厳しい戦いとなります。男子はグループBで、ドイツ・フランス・ブラジルと格上のチームと試合を行います。女子はグループCで、世界でナンバーワンのアメリカと同じグループなので、こちらも非常に難しい対戦です。是非応援頂ければ幸いです。

余談ですが、ここで日本のバスケットボールの人口について、皆様にお伝えさせて頂きたい事があります。昨年時点で、バスケットボール競技者人口は全国で約57万人います。クラブは3万2千ほどありますが、実は神奈川県が競技者人口が一番多いです。東京よりも千葉よりも多く、神奈川県は4万1千人の競技者人口登録があり日本で一番のマーケットです。横須賀には172チームございます。昨年よりも1チーム増えたと聞いております。昨年のワールドカップや年末のスラムダンクの映画上映があり、その影響からか競技者人口が少しではありますが増えている、というのが今のバスケットボールの特徴です。因みに、日本で一番競技者人口が多いのはサッカーで92万人、野球が69万人、次にバスケットボールの57万人というのが、現状の日本の競技者人口の順番です。

続きましてB. LEAGUEと我々クラブのことについてお話をさせて頂きます。B. LEAGUEは、北は北海道から南は沖縄までございまして、サッカーと同じようにB1、B2、B3と階層別に分かれています。一番上をB1と呼び、トップリーグです。我々は8年間ずっとここに所属しております。全国で57クラブがあり、そのうち神奈川県にはB1のチームが横浜と川崎、そしてB3のチームが湘南と横浜にあります。つまり神奈川県には全部で4チームのクラブがあります。

B. LEAGUEには3つの使命があります。

- ・世界に通用する選手やチームの輩出
- ・エンターテインメント性の追求
- ・夢のアリーナの実現

夢のアリーナを通じてたくさんの方に応援して頂く環境を作っていきましょう！ということミッションに掲げております。

次にB. LEAGUEが始まってからの観客動員の推移についてです。2016年に開幕した当初はB1、B2合わせて220万人の方にご来場頂きました。そこから途中コロナで少し減った時期もありましたが、昨シーズンはシーズン入場者数が450万人となり、初年度220万人から200%にアップしました。その要因としては、ワールドカップの効果が大きかったと思っています。B. LEAGUEは、10年目を迎える2026年に『B. 革新』と銘打って、もっと競技力が高くもっとエンターテインメント性の高いリーグを目指します。“NBAに次ぐリーグを作っていこう”と、B. LEAGUEを通じて発表されました。これに応じて我々クラブもその準備をしていかなければなりません。

以下にB. LEAGUEが描く未来像を掲げております。

- ・日本中がバスケットで盛り上がっている

- ・多くのB. LEAGUEクラブ出身選手たちが世界の舞台で活躍している
- ・夢のアリーナを中心にたくさんの人が集まり、地域を活性化
- ・バスケットを通じて地域や社会の課題解決に寄与する

現在、世界の舞台で八村選手他何名かが活躍しており、そこにはたくさんの日本人選手を輩出していこうという思いがあり、またアリーナ周辺のビジネス環境も作り上げ、地域活性化を目指しています。“バスケットを通じて地域や社会の課題解決に寄与する” くらいの存在になっていこう、というのが我々B. LEAGUEクラブの思いでございます。

続きまして横浜ビー・コルセアーズについてご案内させていただきます。横浜ビー・コルセアーズは2011年に発足して今シーズンで14年目のシーズンを迎えます。ビー・コルセアーズというのは言いづらいですが、コルセアというのが海賊、海賊団という意味になりまして、海賊という名のバスケットボールのチームであるということをぜひ皆様覚えて下さい。また、“ビー・コルセアーズ” は言いづらいので、“ビーコル” と呼んで頂いております。横浜をホームタウンとしております。また、その横浜をホームタウンとするプロスポーツクラブは、DeNAベイスターズ、マリノスさんをはじめとしてサッカー、フットサル、アイスホッケー、ソフトボール、ラグビー、そういったプロのチームが合計13チームあります。全国で最多のプロスポーツチームが在籍しているエリアです。

我々横浜ビー・コルセアーズについてですが、社名は「株式会社横浜ビー・コルセアーズ」で、代表は白井です。ホームアリーナは横浜国際プールで横浜の北部にあります。もともと夏場はプールで冬場にはそこをフロア化して、我々が毎回バスケットボール仕様のコートを設置している、という流れになっています。我々は3年前にウエイズグループ（ウエイズ：トヨタの販売店）の傘下に入りまして、ウエイズグループのスポーツ部門として地域の皆様に知って頂くように活動しています。そのビー・コルセアーズが掲げる、大事にしたい、大切にしたい価値観は『進取果敢』で、スローガンとして挙げております。自ら進んで積極的にことをなし、失敗を恐れずチャレンジしていこうという思いです。常に新しいものを受け入れて、そこから地域に愛され、また地域を愛していこう。そこで様々な人やモノが行き交うコミュニティが作れるコンテンツでありたいと思っています。『進取果敢』になるということを常に活動意識として持っております。

目指すクラブの在り方として、我々は、神奈川県がバスケットボールの日本の一のマーケットであるということから、先ほどのジェイコブ・晶選手のように、発掘して育成をし、個性的な海賊の集団であること、更に調和とコミットメントとして、常に勝つ姿勢を持って戦いに挑んでいくことを掲げております。その若手の選手かつフランチャイズプレーヤーとしての候補が河村勇輝選手と、キング開選手です。キング開選手は横浜出身のプロバスケットボール選手でございます。我々の下部組織であるスクールから、ユースを駆け上がってトップチームと契約したB. LEAGUEでも初めての選手です。彼は小さい頃から非常に有名な選手で、その彼を発掘して育成し、そのままトップチームの契約選手としたというのが、我々としても非常に大きなインパクトのある出来事でした。

河村選手は、昨シーズンは非常に頑張ってくれました。その注目から我々の上のNBAのグリズリーズというチームからオファーを頂いて、エグジビット10という正式なNBAのプレーヤーではないですが、NBAにも行けるかもしれないという契約を勝ち取ることができました。まだ今はビー・コルセアーズの所属の選手ですが、10月から始まるシーズンに向けて、おそらく9月中には渡米して、そこから向こうでのチャレンジが始まるということでございます。

昨シーズンの我々のチームの結果をお話しさせていただきたいと思っております。我々のシーズンは10月から始まって、翌年の5月までとなります。AwayとHomeで30試合ずつ、合わせて60試合で行われます。昨シーズンに関してはチームとしては不甲斐ない結果で、24勝36敗・勝率4割という結果でございました。前年がベスト4だったため非常に厳しい結果で、24クラブ中19位でした。

ただ一方、ビジネス面ではワールドカップの影響もあり、非常に多くの方々にご来場頂きました。30試合中全試合で我々のチケットが完売し、我々も初めての経験で非常に大きなインパクトでございました。B. LEAGUEの中でも24クラブ中6位ということで、平均すると4800人くらいのお客様にご来場頂きました。その結果もあって、たくさんの方々へ情報を登録してフォロワーになって頂きまして、昨年はいまだにない70%の伸びを得て、今では30万人を超えるお客様にフォローアップして頂いております。

業績に関しては、2020年、2021年がコロナのどん底で非常に厳しく売上6億円という状況でしたが、昨シーズンに関しましては、初めて売上20億円という大台に乗り、費用が17億8千万円、営業利益も3億円を超え、本当に大きなチャンスをもたらえたと思っております。

実際の映像を流すことができないので、写真を写させて頂いています。中心の長細いところが国際プールです。中心にコートを設置して1階席、2階席合わせて5千名のお客様に観戦頂けます。野球やサッカーと違って選手と非常に近い位置で試合を観戦でき、選手の息遣いを感じることができます。ボールが飛んでくるくらいの距離の近さで試合させて頂いております。

もう一つこちらは今年の4月にリニューアルをオープンした横浜BUNTAIで、スポーツのこけら落としをさせて頂きました。ここも先進的なアリーナで、大きなビジョンがあり、おそらく現時点では関東で一番大きなビジョンを有しているアリーナになると思います。こちらも5000名を収容でき、国際プールと違って音と光と映像が駆使でき、非常に面白い演出などもできて好評を頂きました。

シーズンがまた10月から始まります。こちらが今シーズンのメンバーでございます。河村選手は先ほど申し上げたようにこの9月か10月に旅立ってしまいますけれども、現時点で11名のRoster選手を保有しています。右下に“Coming Soon”と書いてありますが、こちらには外国籍の選手が登録する予定で動いています。実はここにも皆様には是非知って頂きたい選手がいます。ナナーダニエル弾という選手がおります。この選手も実は横須賀出身のバスケットボールプレーヤーでございます。現在27歳で中学2年生くらいまでは陸上競技をやっていた選手です。平塚、横浜、川崎でもいろいろな方々に“私もナナー選手知ってます”、“陸上の時に一緒にやりました”という声が聞こえるくらい、名前が珍しく、当時から結果も出しており、非常に有名な選手で、実は横須賀で生まれ育った選手なので是非この選手も注目して頂きたいと思っております。

もう一つ、我々と一緒に活躍しているのがB-ROSEというチアリーダーです。バスケットボールのチームには必ずチアリーダーがいます。このチアの名前は横浜の花であるバラに因んでおります。毎年オーディションをしており、今シーズンも12名のB-ROSEが誕生し、応援する皆様と一緒に場を盛り上げております。

今シーズンの目標についてですが、チャンピオンシップの出場を一つの目標に掲げております。昨シーズンは非常に不甲斐ない結果でしたが、まず日本シリーズと呼ばれるチャンピオンシップに出られるようにチーム作りをしております。

また、事業の目標では昨シーズン売上20億円でしたが、河村選手が抜けてしまうことから若干厳しい業績になるかもしれないので今期は18億6千万円とし、来場人数に関しては昨年同様1試合当たり4800人、ほぼフルハウスの状況を作り出していきたいと思っております。

最後に、このクラブがどのような活動をしているか、笑顔をつくる活動をしているかということ、事例を交えてお話しさせて頂きたいと思っております。『笑顔をつくる』ということで、我々3つの取り組み(側面)から活動しております。大きく分けて1つは地域です。地域の皆さんと一緒に becoming。もう1つが教育です。子供達を対象とした取り組みの1つとなっています。もう1つは経済の取り組みです。この3つを意識しながら活動しております。

まず地域の取り組みについては、我々も株式会社でございますし、地域の一員として社会的な責任を果たしていくため、様々なイベントを開催し、地域の活動やプロジェクトに参加しています。また、安全・環境保護の活動として防犯パトロールや清掃活動も行っています。

次に教育です。ここでは子供達にスポーツの楽しさや体を動かす重要性を伝えています。毎年数十の学校を訪問し、選手による講演やスポーツクリニックを実施しています。また併せて、子ども向けのトレーニング機器やスポーツ教室招待券をプレゼントし、皆様に楽しんで頂くきっかけを作っております。

経済への取り組みは、商工会や商店街や我々のパートナーと一緒に becoming、イベントを通じて経済活動を促進して地域の活性化に寄与する活動を行っております。具体的には、我々の試合の中でイベントを開催しています。また、スポンサーシップ、コラボレーションの形で地域の皆様と一緒に何かを生み出す活動も行っています。そういった活動を我々は『YOHO action』と呼んで活動しています。横浜ビー・コルセアーズのホープ、アクションを縮めて『YOHO action』と呼んでいます。小学校、福祉施設、病院を訪問して体操教室の開催をしています。ご高齢の皆様に対して健康寿命を延ばしていく体操教室を実施したり、また地元の清掃を行っております。

具体的に少しずつ話をしていきます。学校訪問の例でキング開選手は、横浜出身であり地元の母校を訪問して、自分の中学時代の活動や当時描いていた将来像、そこに向かっていくためにどのような活動をしてきたか等、子供達に分かりやすく説明をしました。地元の中学校から、“選手に怪我をしない、また勝利に結びつくような食事を作ってあげたい”というような申し出がありました。子供達の夢を是非叶えたいと思い、我々のスポンサーと一緒にあって、どういう食事をすれば選手の回復力が上がるか等、レクチャーして頂きました。鰹節を使った食品等を試合後選手と食べたり、試合で疲れた体をすぐにリカバリするような食事を一緒に作ったりしました。掲載の写真はチアリーダーのメンバーが直接指導している様子です。

LTO活動についてです。我々は海賊ですので海が主戦場になります。海のゴミは地上から海に流れ込んでいるゴミが8割と言われていて、そこで、海にゴミを行かせないということでホームゲーム前にファンの皆様と一体となってゴミ拾いをしたり、また児童養護施設の子供達をご招待したり、ピンクリボンの募金活動もさせて頂いております。

日本郵便さんとタイアップして“子供達にボールをお届けする”ということで、地元の幼稚園、保育園、また岩崎学園さんの幼稚園にも寄贈させて頂きました。

実はある会合で文科省の方から教えてもらったことがあります。それは中学校で一番運動時に事故が多いスポーツが、実はバスケットボールだということです。接触が多いことから、バスケットボールが一番事故が多いという説明でした。中でも歯の事故が多く、自分の歯が折れたり欠けたり、またそれが相手にも傷つけることが一番多いということを教えてもらいました。それを聞いて神奈川県歯科医師会様にお話をさせて頂き、マウスガードを子供達に装着できるような環境を作っていきましょと、お互いにスポンサーシップという形をとり、それを普及活動にさせて頂きました。

また、学校で行われる地元の小さなお祭りにも我々が参加し、我々が参加することによってたくさんの方々に注目してもらい、そこで楽しい思い出となる機会をつくっております。

このような3つの側面、地域・教育・経済への取り組みを通じて、地域の皆様を愛し、また愛され、必要な存在になっていき、そこからビー・コルセアーズがいてよかったなどと思われることを目指した活動を地道に年間100回近く行っています。そうしたところから1年間にホームゲームにご来場頂く皆様、それからいろんなイベントで応援して頂く皆様を含めて『100万人の笑顔をつくる』ことを目指して活動しています。

最後に一言。今年のシーズンは10月に開幕しますので、是非皆様に来て頂ければと思います。是非会場で体感して下さい。ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 高橋 会長

週報担当 梶木 洋平